

2024年9月27日

デジタル粉塵計のお取り扱いについて

平素より大変お世話になっております。

このたびは、弊社のデジタル粉塵計をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、今回は粉塵計の取り扱いに関してご連絡を差し上げました。粉塵計は、法令に基づき較正が義務付けられている計測機器で、1年以内に較正機関で清掃(一般清掃)を行った後、検査・調整を実施し、較正証が発行され、その際、較正機関により「特別清掃」が必要と判断された場合、その費用はお客様に別途ご請求させていただいております。弊社の粉塵計レンタル事業は3年半が経過しましたが、その間、発破掘削の現場において、実測 $2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下の環境でも特別清掃が必要となるケースが増加しており、

このような事態を避けるため、(株)東宏が作成した取り扱い説明書とともに、以下の内容をご参考にしていただければ幸いです。

1. 粉塵計の持ち運びについて

粉塵計の吸引口には、外気が入らないよう捻じ込み構造が施されていますが、分粒器に粉塵が入った状態で強く揺さぶる(通常の持ち運びは問題ありませんが、倒したりひっくり返したりすると)、計測器内部に粉塵が入る可能性があります。清掃前には、吸引口バルブを閉め、粉塵計を倒れないように持ち運んでください。

2. 粉塵計の清掃方法について

粉塵計にはソフトケースが付属していますが、清掃の際には吸引口を先に取り外さないとカバーを外せず、清掃ができません。特にトンネル内で使用した粉塵計では、カバーの外側やカバーと本体の間、吸引口周辺に粉塵が溜まる場合があります。データを抜き取った後、日々の清掃時にそのままの状態で吸引口を取り外すと、本体吸引口の取付穴に粉塵の微細な塊が落ち、特別清掃が必要な状態になる可能性があります。

従いまして、確実な方法として、吸引口を外す前に歯ブラシで吸引口の取付底部をブラッシングして粉塵を浮かせ、その後エアダスターで粉塵を吹き飛ばし、固く絞ったタオルでカバー表面および吸引口を取り付けた状態でカバー内部を拭いてください。その後、吸引口を取り外し、本体の吸引口穴を布テープ等で塞いでから本格的な清掃を行ってください。

3. 清掃作業の重要性について

これらの作業は手間がかかりますが、研究室などで0.001mg/m³の微細な粉塵濃度を測定する計測器のメンテナンスとしては必要な手順です。

4. 取り扱いに不明点がある場合について

粉塵担当者が変更された場合や(株)東宏作成の取り扱い説明書をお持ちでない場合、また粉塵計の取り扱いについてご不明な点がございましたら、ぜひお問い合わせください。

お問合せ先

本州・九州・四国

(株)東宏 東京支店

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 2-7-1 THOYUビル 2F

TEL: 03-6659-3841 / 03-6659-3845

担当者: 楠 裕樹(クスノキ ユウキ) kusunoki@k-toukou.co.jp 080-3294-4934

担当者: 飯田 壮一(イイダ ソウイチ) iida@k-toukou.co.jp 080-8839-3893

北海道

(株)東宏 本社

〒007-0829 北海道札幌市東雁来 9 条 3 丁目 2-3

TEL: 011-792-3000 FAX: 011-792-3000

担当者: 波多野 卓(ハタノ タカシ) kaihatu@k-toukou.co.jp 090-8274-4087